

福みえ

伝える
つながる
ひびきあう

1

2020 January

No.346

社会福祉法人 里和
なのはな保育園の

子どもたち

ああ、気持ちいい～



園庭遊びを通じて、協調性や創造力を養います



集団行動の楽しさを育みます



園内は絶えず子どもたちの歓声が



お母さんといっしょに楽しんでいます



みんなで力をあわせて!

亀山市の「なのはな保育園」では野菜の栽培、おやつクッキング、サーキット遊び、生花、習字、リズム遊びなどに五感を使った体験を通じて、心身ともに成長できる保育環境を整えています。年齢別の保育方針を定め、担当制や縦割り保育を取り入れて、他の園児と一緒に成長していけるようなプログラムを通じて、優しい心と健康な身体を持ち、何事にも意欲的に取り組む子どもになることを目標に掲げています。

もくじ

- 年頭所感 2
- 特集：福祉教育の取組について 3
- ねんりんピック 紀の国わかやま 2019 の結果 6
- information 7
- ありがとうメッセージ 8



ふれあいネットワーク



社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

年頭所感

～新年のメッセージ～



社会福祉法人
三重県社会福祉協議会
会長 井村 正勝

新しい年を迎えるにあたり

あけましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしく願います。
わが国では、様々な社会的背景から地域の福祉課題、生活課題は複雑・多様化しています。一方、国では「地域共生社会の実現」をコンセプトに掲げ、各地域において包括的な支援体制を整備していくための取組みが推進されています。

そのような社会情勢を踏まえ、本会では昨年「地域福祉活動支援計画・

強化発展計画」であるウェルビーイングみえ21プランの見直しに取り組んでいます。新たな計画では、関係機関と連携し、相互に高め合うことや、開発的な視点で確実に取組みを進めていくこと、そして福祉の理念や本質に軸足を置きながら、社会情勢の変化に柔軟に対応していくことなどを基本姿勢に、各種の取組みを進めていく所存です。

三重県の福祉向上に向けて、長きにわたり福祉のまちづくりに取り組んできた社会福祉協議会、民生委員・児童委員、社会福祉法人・社会福祉施設などが協議し、連携・協働に基づき、これまで以上に力を発揮していくことが重要です。

本会役職員一同、今後とも地域福祉の向上に努めていきますので、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



社会福祉法人
三重県共同募金会
会長 中川 千恵子

謹んで新春のお慶びを
申し上げます

平素より、赤い羽根共同募金運動にご支援をいただいております県民の皆さま、また、運動を支えていただいております関係者、ボランティアの皆さまに心より感謝を申し上げます。

共同募金運動は昭和22年に始まり、本年度で73回目となります。

この間、社会情勢は大きく変化し、ライフスタイルも多様化しました。共同募金は時代の変化の中で求められるニーズに応え、赤い羽根共同募金運動

として定着し、地域の社会福祉の向上に役立てられました。

一方で、共同募金に対する県民の皆さんの意識の変化等に伴い、募金実績額は減少しています。

このような中で、三重県共同募金会では70年答申に示された参加と協働による「新たなたすけあい」の創造を目指して、共同募金の配分のあり方等について見直しを行っています。

近年、国内各地は地震や台風などの大規模な自然災害に見舞われています。昨年10月は、令和元年台風第19号により関東地方を中心として甚大な被害が発生しました。三重県共同募金会は、被災者の方々を支援するため災害義援金を募集するとともに、災害等準備金の一部を取り崩して、被災者の災害ボランティアセンターの経費へ拠出する等、災害支援に取り組んでいます。

三重県共同募金会は、これからも私たちが安心して暮らせる地域をつくるため「じぶんの町を良くするしくみ」が十分機能するように更なる努力を続けて参りますので、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、皆さまのご健勝とご多幸をお祈りしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



福祉教育の取組について

「福祉教育」は、教育分野と社会福祉分野が重なり合っており、幅広い視点でとらえられます。主には「子どもたちの学びの支援」と「住民主体の『地域福祉』の推進」という2つの流れがあります。(全社協 HP 参照)

子どもたちの学びを支援する取り組みは、戦後まもなく各地で始まりました。これは、日本国憲法が制定され、教育の分野でも大きな改革が必要となったことが背景にあるといえるでしょう。各地での断続的な取り組みをもとに、昭和52年には、国庫補助事業として「学童・生徒のボランティア活動普及事業」が始まりました。

今回は、鈴鹿市社協における40年近くにわたる福祉教育の取り組みをご紹介します。

鈴鹿市社協では、事業実施を通して、地域の社会資源と積極的に連携し子どもたちの学びを支えてきました。また、社協内の部署を横断して事業に関わることで、組織の基盤づくりとなることも意識して取り組まれてきました。

鈴鹿市社協における福祉教育事業に、初期より関わられている法人担当副参事の渥美秀人さんと現担当者の坂侑里子さん(地域福祉課)にお話をうかがいました。

鈴鹿市社協 ワークキャンプ事業

鈴鹿市社協が取り組む福祉教育事業の1つに鈴鹿市ワーク

キャンプ(以下、「ワークキャンプ」という。)があります。

ワークキャンプでは、地域で暮らす高齢者の方やさまざまな障がいのある方とのふれ合いや交流活動を通して、それぞれの個性や人格を認め合い、生きる事を喜び合える「思いやりの心」と「共に生きる」ことの尊さに気づくこと、それぞれの地域社会での役割や協働について考えることを目的としています。

ワークキャンプは今年度で35回目を迎えました。現在のワークキャンプの内容は、夏休みに鈴鹿市内の福祉協力校の小学校から高等学校・特別支援学校の希望者が参加し、地域の福祉施設を訪問します。中学校・高等学校の部は2〜3日間、小学校の部・特別支援学校の部は1日間訪問した施設で体験学習に取り組みます。また、中学校・高

等学校の部では、事後学習会に参加します。事後学習会では壁新聞を作成し、全体で学び得たことを共有します。

令和元年度の受入施設は34か所、参加者は小学生161名、中学生31名、高校生13名、特別支援学級1名の計206名でした。

ワークキャンプの変遷

もともとは、三重県社協からの助成事業として取り組み始めました。当時は、青少年センターや、特別養護老人ホームで利用者の方とのふれあい、車いす体験を行っていました。また、地域の高齢者とふれあう機会を持つために、市の担当部署に働きかけ、当時のヘルパー事業の訪問先のうち、一人暮らし高齢者のお宅の清掃などもプログラムに取り入れていました。

その後、県外で事後学習会をしているという例を聞き、鈴鹿市社協でも取り入れました。当



▲事後学習会の様子

初は、施設での体験の最終日に鈴鹿市社会福祉センターにて生徒、先生、社協担当職員も一緒に宿泊をし、参加した生徒が壁新聞を作成し、翌日に発表をするというスタイルでした。

現在の事後学習会は、生徒の拘束時間や安全面のことを考慮し、宿泊は行わずに、午前中からお昼をまたいで壁新聞を作成し、午後から発表をするというスタイルで行っています。発表時には受入施設の担当職員



▶社会福祉大会での発表の様子

の方にもご出席いただき、体験学習時の生徒の様子や利用者の方の様子などについてコメントをいただいています。

事後学習会で作成した壁新聞は、ワークキャンプ受入施設、学校や鈴鹿市の社会福祉大会の会場にて掲示しています。また、ワークキャンプの参加者の中から代表して2名の方に、社会福祉大会で体験を発表していただいています。

ワークキャンプのプログラム例 (A施設のプログラム例)

1日目	2日目	3日目
10:00 集合	10:00 集合	10:00 集合
10:10 オリエンテーション 施設紹介・利用者さんに挨拶 ラジオ体操など	10:10 福祉車両乗車体験 福祉用具体験	10:10 職種別体験 理学療法士 (リハビリの見学)
10:45 施設探検	11:15 食事の配膳	11:15 食事の配膳
11:15 施設探検	12:00 休憩	12:00 休憩
12:00 休憩	13:00 環境整備のお手伝い	13:00 レクリエーションの準備 移動のお手伝い
13:00 高齢者について知ろう	14:00 レクリエーション① (制作)	14:00 レクリエーション②
14:00 利用者さんとお話	14:30 ふり返り	14:30 ふり返り
14:30 ふり返り	15:00 終了	15:00 終了
15:00 終了		

▼訪問施設の利用者との交流



▲体験初日には必ず社協職員が生徒・施設職員・先生に対してオリエンテーションを行います。

ワークキャンプ実施に係る主な会議等

4月	鈴鹿市教育委員会後援依頼。
5月	福祉協力校担当者会議および鈴鹿市福祉施設連絡協議会を開催し、ワークキャンプの概要を説明。
6月	福祉協力校およびワークキャンプ受入施設が会するワークキャンプ打ち合わせ会議を開催し、受入施設と学校で日程や参加人数等を協議。
7月	鈴鹿市社協地域福祉グループ職員へのオリエンテーション実施。
9月	2回目の福祉協力校担当者会議および鈴鹿市福祉施設連絡協議会を開催し、ワークキャンプの実績報告と文集のコメントの依頼を行う。
12月	鈴鹿市ワークキャンプ文集作成・発行。

参加した生徒の変化

ワークキャンプに参加する前は「ふくし」Ⅱ「介護」「高齢者」という声がたくさん聞こえてきます。しかし、ワークキャンプに参加してたくさんの人、職業の方と関わるなかで、「ふくし」の対象者は高齢者だけでなく全ての人を対象として小さい子どもから大人、高齢者の方、障がい者の方まで、幅広いということを知ります。また、地域の施設に訪問することによって、普段は前を通っていただけの場所が知っている場所になり、たくさんの人と関わることの大切さを知ることができます。

最初は不安そうな生徒も多いですが、最終のふり返りの時間には表情も緩みまた参加したい、たくさんの人と話してきたという感想をいただいております。

今後の展望

渥美さん



今の形がベストとは考えていません。これまでも夏休みの数日、福祉の現場で何か感じてもらえる仕組みづくりをするには、どのような体験が良いのか、職員の中で意識を持ち、研鑽してきました。どういった場を提供するか、体験日数や時間の設定、関わる人など時代に応じて考えていく必要があります。これからの担当者には、生徒のニーズにどう対応していくか考えていってほしいです。また、施設の職員の方とも協力してより良いワークキャンプを構築していければと思っています。

坂さん



施設の担当職員の方に毎年プログラム内容を考えていただいておりますが、最近は参加生徒の感想や事後学習会の発表などから、生徒に人気のあるプログラムを取り入れていただいております。「とろみ食体験」「理学療法士や看護師等専門職の講話」など、参加生徒がよりたくさんの人や職業とふれあえる、体験内容の濃いプログラムとなっています。

これからも、たくさんの方の生徒の方に「ふくし」を知る、「ふくし」にふれる1つのきっかけとしてワークキャンプに参加していただければと思います。

第32回全国健康福祉祭和歌山大会 ねんりんピック紀の国わかやま2019

あふれる情熱はじける笑顔

「ねんりんピック」の愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」は、60歳以上の方を中心に、全国のあらゆる世代の方々がスポーツや文化種目の交流大会、健康や福祉に関する多彩なイベント等を通じて健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚を図ることを目的とした祭典です。

本年度は、11月8日から12日の5日間の日程で和歌山県にて開催されました。三重県からは126名の選手が出場し、各種目で活躍されました。その中でも特に優秀な成績を残された方々（チーム）のご報告をさせていただきます。



ねんりんピック紀の国わかやま大会結果（三重県参加 22 種目）受賞者・成績優秀者

種目	開催地	結果			
		リーグ	結果	チーム・個人名	備考
ゴルフ	橋本市	65歳～69歳の部	9位 / 51人	上野 生知子	優秀賞
マラソン	太地町	60歳～69歳の部 3km (男子)	1位 / 20人	越智 真人	優勝
水泳	和歌山市	—	2位 / 9人	原 鉄雄	背泳ぎ 25m 男子 (70歳～74歳の部)
			1位 / 6人	〃	背泳ぎ 50m 男子 (70歳～74歳の部)
			3位 / 8人	西口 郁夫	自由形 50m 男子 (70歳～74歳の部)
			1位 / 8人	後藤 弘美	平泳ぎ 25m 女子 (60歳～64歳の部)
			1位 / 10人	〃	平泳ぎ 50m 女子 (60歳～64歳の部)
			1位 / 13人	川口 ひろみ	自由形 25m 女子 (60歳～64歳の部)
		団体戦	3位 / 10人	〃	バタフライ 50m 女子 (60～64歳の部)
オリエンテーリング	かつらぎ町	—	4位 / 30組	三重県	混合メドレーリレー (280歳以下)
サッカー	上富田町	—	3位	三重県 オリエンテーリング協会	—
ソフトバレーボール	橋本市	予選リーグ	2位	伊賀 FC シニア	準優勝 Aブロック (1勝2分)
		順位別リーグ戦 第1位グループ	1位	四日市クラブ	Uブロック (2勝0敗)
合気道	田辺市	—	3位	—	第7ブロック (1勝1敗)
		—	—	落合 悦子	最高齢者賞 (76歳)
囲碁	海南市	個人戦	—	杉田 憲司	高齢者賞 (76歳)
			13位 / 58人	松下 哲夫	優秀賞 (みかんブロック)
			13位 / 61人	田中 正明	優秀賞 (うばめがしブロック)
			2位 / 59人	小西 昭裕	全勝賞 (くじらブロック)
		団体戦	2位 / 61チーム	三重県チーム	準優勝

information

住友生命保険相互会社三重支社様から チャリティ募金のご寄付をいただきました

住友生命保険相互会社三重支社様が、11月28日（木）に開催した「住友生命 33rd 全国縦断チャリティコンサート」の会場で寄せられた募金の中から、本会に15万円をご寄付いただきました。寄付金は、他に西日本豪雨、北海道胆振東部地震被災地への楽器寄贈に充てられています。誠にありがとうございました。



左から順に
住友生命保険相互会社 三重支社長 柿木田 修 様
三重県社会福祉協議会 会長 井村 正勝

全国ナイスハートバザール 2019 in みえ 「出会い」～やって来い・よって来い in 津～

このバザールは、三重県内をはじめ全国の社会就労センター（障がい者就労支援事業等）で生産・製造された商品を展示販売し、販路の拡大・障がい者の工賃水準の向上を図ると共に、広く開催県民の理解を深めていただき、障がいのある方々の社会参加を促進することを目的に開催されます。なお、本事業は、令和元年度台風19号等災害復興支援事業として開催されます。

主催 社会福祉法人 全国社会福祉協議会・全国社会就労センター協議会
認定特定非営利活動法人 日本セルフセンター
三重県社会就労センター協議会

日程 令和2年2月19日（水）～2月23日（日）

時間 19日（水） 11:00～19:00
20日（木）～22日（土） 10:00～19:00
23日（日） 10:00～16:00

場所 イオンモール津南 みなみの広場（SPORTS DEPO 前）
〒514-0817 津市高茶屋小森町145番地

お問合せ先 三重県社会就労センター協議会 事務局
〒514-1115 津市木造町1824番地
TEL: 059-255-1102 **FAX**: 059-255-1103
（担当 北林・辻岡）

平成31年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険 検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

事故・紛争円満解決のために！

プラン1 施設業務の補償（賠償責任保険、動産総合保険）

1 基本補償（賠償・見舞）

▶ 保険金額		
	基本補償（A型）	見舞費用付補償（B型）
賠償事故	対人賠償（1名・1事故）	2億円・10億円
	対物賠償（1事故）	2,000万円
	受託・管理財物賠償（期間中）	200万円
	うち現金支払限度額（期間中）	20万円
	人格権侵害（期間中）	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失（期間中）	1,000万円
	徘徊時賠償（期間中）	2,000万円
お見舞い等	事故対応特別費用（期間中）	500万円
	被害者対応費用（1名につき）	1事故10万円限度
	傷害見舞費用	死亡時100万円 入院時1.5～7万円 通院時1～3.5万円

◆クレーム対応サポート補償（プラン1-①オプション4）改定

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約（賠償責任保険、医師賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険）です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
（引受幹事）損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
（保険会社）**TEL: 03(3349) 5137**
受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、12/31～1/3を除きます。）

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581) 4667 FAX: 03(3581) 4763
受付時間：平日の9:30～17:30（12/29～1/3を除きます。）

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。



スケールメリットを活かした
充実した補償と
割安な保険料
です。

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 施設職員の補償 改定

プラン4 社会福祉法人役員等の補償

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。

割安な保険料

充実した補償と

スケールメリットを活かした

です。



ありがとうメッセージ

心も一緒に届いています

障がい者サポートセンターのぞみの里 平成 30 年度 NHK 等歳末たすけあい配分

成人を迎えられた利用者さんをみなでお祝いしました。

歳末たすけあい義援金を活用して、成人を迎えた利用者さんのご家族やお世話になった先生方をお招きして、お祝いの会を開催しました。

おいしい料理にお祝いメッセージ、思い出のフォトムービーに合唱と素敵なお祝い会ができました。

ありがとうございました。



社会福祉法人名張育成会 育成園成峯 平成 30 年度 NHK 等歳末たすけあい配分

新年会を開催しました。

新年会冒頭に保護者会の会長と所長から新年のあいさつがあり、活動の様子をスライドショーで上映しました。続いて桔梗フィルハーモニカ様による演奏が行われ、ハーモニカ演奏が始まると手拍子をしたり、演奏に合わせて、家族と一緒に合唱を行い、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

昼食はお寿司をメインにしたお食事を満喫されました。日頃、食の進まない方も美味しそうに召し上がられ、皆さんに笑顔で新年会を楽しんでいただきました。



発行人／井村 正勝

編集人／松本 利治・広報委員会

発行所／社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

〒514-8552 三重県津市桜橋2丁目131

TEL：059-227-5145 FAX：059-227-6618

URL：http://www.miewel-1.com/ E-mail：info@miewel.or.jp

編集協力／株式会社アイリック

2020年1月号(通巻346号) 令和2年1月発行

「福祉みえ」は三重県社協のホームページでもご覧になれます。また、広報に関するご意見・ご感想は、E-mailにて受け付けております。